

# 地域に貢献する図書館を考える

～今図書館で起きていること～

松本大学図書館  
伊東直登

## ■本日の流れ

- ①「つなぐ」という図書館思考
- ②図書館活動を考える
- ③これからの図書館を考える

## ■「つなぐ」という図書館思考 —塩尻市立図書館の事例—

□複合施設が生んだ「つなぐ」思考

課題としての「複合施設」と「図書館不要論」

⇒ 逆境をプラス思考に

⇒ 連携から「機能融合」へ

⇒ つながることで生まれる新しく多様なサービス

そして、「新しい利用者（未知のニーズ）」 = 地域の必要な施設

※貸出ではなく利用者を増やす図書館運営

## ■複合施設えんぱーく 多様な機能をつなぐえんぱーく

## ■活動の場としての図書館

利用者による「図書館での活動」についてどう考えるか。

= 図書館の経営理念

□新しい図書館の形に挑戦している幾つかの図書館を紹介

少し前、考えられませんでした。

開館中にコンサートをする図書館 子どもの遊び場と同居する図書館

保育士が図書館員をする図書館 複合施設で、図書館外に本が置いてある施設

その本を、図書館閉館後に借りることができる施設 貸出をしない市立図書館

写真 OK、会話 OK の図書館 お酒を飲んでいい図書館

- 「えっ」と思った方 チャンスです！  
ご自身の固定概念、既成概念のラインが見えれば、その先が見えてきます。

自分自身の既成概念を壊す。  
それがまさに、えんぱーくで私たちが歩んだ道でした。

- えんぱーく etc.  
図書館は単独館！ 絵本コーナーはじゅうたんで！  
図書館でコンサート？ 音を出すんですか！  
ビジネス支援で、公共がやるべきことですか!?  
雑誌バックナンバーは後がいいか、下がいいか。 ……

■いろいろな図書館が現れています。それは、図書館は住民にどんな役立ち方ができるのか、という経営理念の問題だと思います。

⇒さて、住民は、そんな図書館を受け入れられるのでしょうか？

- えんぱーく 建設時の議論

「子育て支援センターの横に図書館があったら、子ども遊べないでしょ！ 司書さんすぐに『静かに！』って言いますよね。図書館はそれでいいんですか？」  
「私、子どもに本読ませたいから図書館に子ども連れて来るんですよ。図書館に遊び場やおもちゃがあるなんて！」

- 子育て支援センターを利用している皆さんにお聞きしました。

調査月：2018年10月

回答者：163名 女性147人 男性15人

10代 0人 20代 41人

30代 100人 40代 14人

50代 0人 60代 8人

- 隣接する図書館を利用していますか？

	人数	%
週に1回は利用している	24	14.7
月に1回は利用している	65	39.9
数ヶ月に1回は利用している	47	28.8
利用していない	27	16.6
計	163	100.0

□ここに図書館が隣接していなかったら、どうしたと思いますか？

	人数	%
図書館は利用していないと思う	33	24.3
他の図書館を利用していると思うが、利用頻度は今より低いと思う	82	60.3
他の図書館を同じように使っていると思う	17	12.5
不明	4	2.9
計	136	100.0

ここに図書館がなければ、図書館は利用していないという33名の図書館利用は？

□ここに図書館が無かったら利用しなかった皆さんの図書館利用頻度は？

	人数	%
週に1回は利用している	4	12.1
月に1回は利用している	16	48.5
数ヶ月に1回程度は利用している	13	39.4
計	33	100.0

□ここに図書館が無かったら利用しなかった皆さんの図書館利用は？

	人数	%
児童コーナーの利用がほとんど	14	42.4
児童コーナーが多いが一般も使う	11	33.3
児童コーナーも一般も使う	3	9.1
一般が多いが児童コーナーも使う	3	9.1
一般コーナーの利用がほとんど	2	6.1
計	33	100.0

### ■活動的な図書館 世界では珍しくない

えんぱーくは、自分たちが井の中の蛙であることを知ることで、変わることができました。そして、変わったことを広報し、住民と一緒に進化しなければ、図書館は進化できないと感じています。

### ■地域を応援する図書館活動

図書館とは、本があって、図書館員がいて。

本を並べて、カウンターに立っているだけでは、多くの人に必要な情報が使わらない。

えんぱーくは、複合施設を活かすための取り組みの中から、新しい図書館の在り方を見つけました。

■「役立つ図書館」を目指して

人と情報をつなぐ

図書館が役立つとは、

- ・ 情報を的確に届けること
- ・ 情報との新たな発見や出会いを創出すること

図書館機能と他機能をつなぐ

図書館が役立つとは、

- ・ 今までに無いサービスを提供すること
- ・ 新しい図書館を地域に生み出すこと

□つなぐ仕掛け I 配架の工夫

- ・ 混配
- ・ 別置
- ・ 企画コーナー
- ・ テーマコーナー 等の工夫

□つなぐ仕掛け II

- 展示 企画展 + テーマブックス + イベント ⇒ 必ず本とつなぐ仕掛け
- 連携 組織連携・イベント連携 融合効果 ⇒ 幅広い企画と相乗効果
- 交流 人や知識、活動が交流し合う「場」 ⇒ 人と人をつなぐ「空間」

※つながりは連鎖する！

□信州しおじり本の寺子屋

地域の役に立つ図書館づくり

⇒ 地元書店との共存

⇒ 複本を減らす 書店から購入する コミックは買わない  
書店が販売する機会を設ける

地域はつながっている、つながろうとしている、そして、図書館がそのきっかけになることもできる、そんなことを図書館は学びました。

今までに無いサービスを提供する、新しい図書館を地域に生み出すとは、「図書館」が、その地域に無くてはならないものとなる取り組みのことと考えています。

そのために、今までの既成概念からの脱出、地域の多様な機能や分野との連携

⇒ 地域を支え、地域とともにあゆむ図書館  
それは、利用者と職員、両者の意識から

□つながったらいいなと思う所、ありますか？

教育・子育て・福祉・観光・企業・地域・教養・芸術・趣味・・・

どんな図書館をつくりましょうか！？

どんな施設をつくりましょうか！？

どんな地域をつくりましょうか！？